

全体に関すること	
ネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>① なりすましや情報の改ざんなどの外部からの攻撃や、データの漏えいなどのセキュリティリスクにも対応した安全なシステムを構築するとともに、GDPRに準拠すること。</li> <li>② データ等の定時バックアップ、通信回線の保守・維持等を適切に実施し、システム・ネットワーク障害時やデータ喪失時に速やかに復旧するための措置を実施すること。</li> <li>③ 想定される最大負荷（1日あたり2,000人程度のユーザー登録）に耐えうるキャパシティプランニングを検討し、これに応じたサーバー構成とすること。</li> <li>④ セキュリティ対策ソフト等の影響により、オンライン展示会の閲覧が制限された場合、実行委員会と速やかに対応を協議し、その指示に従うこと。</li> <li>⑤ 全出展者（最大1,000社）がオンライン展示会上で審査資料を提出した場合でも、その負荷に耐えるサーバースペックを構築すること。</li> </ul>
アクセス解析	<ul style="list-style-type: none"> <li>① アクセス解析ツールを用い、オンライン展示会全体や各コンテンツのアクセス数や直帰率、流入状況（検索ワード・流入元メディア等）等を取得し、表示できるダッシュボード機能を設けること。課題やそれを解決するための仮説を検証すること。</li> <li>② 上記検証結果をもとに、会期中であってもオンライン展示会の改善を行うこと。</li> <li>③ オンライン展示会の会期中、オンライン展示会への新規来場登録者数及びログイン数を実行委員会が随時確認できるよう、管理者用のウェブサイトを設けること。</li> </ul>
ページ表示等	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 来場者の誰もが使いやすいデザイン・レイアウトで、かつ、最少のクリック数で出展者にアクセスできるよう工夫を凝らしたものとすること。また、回遊性の高いものとすること。</li> <li>② 3D技術による会場内の移動や出展ブースの表示は不要とする。</li> <li>③ 原則、日本語、英語の2か国語に対応したページ作成を行うとともに各種登録フォームについても日本語、英語に対応したものとすること。ただし、出展者が用意する商材等は、英語翻訳の対象外とする。日本語及び英語ページは同時リニューアルを原則とする。</li> <li>④ 会期前・会期中・会期後の各時期に応じたりニューアルを行うこと。</li> <li>⑤ ページの更新は、原則としてテストページで行い、実行委員会の確認を経た上で本番環境に反映できるようにすること。</li> <li>⑥ オンライン展示会のURLは、「<a href="https://www.sangyo-koryuten.tokyo/">https://www.sangyo-koryuten.tokyo/</a>」とすること。</li> <li>⑦ コンテンツは、パソコン、スマートフォン及びタブレットのいずれの閲覧も見やすなものとする。</li> </ul>

各ページに関すること（別紙3 オンライン展示会の全体構成に記載しているもの以外）	
ランディングページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キービジュアル等によりデザインされたページとすること。</li> <li>② 産業交流展の実施コンテンツ等を掲出すること。</li> <li>③ 過去の実施報告書を掲出すること。</li> <li>④ ユーザー向けのご意見フォーム等を設け、開催期間中も改善を実施し、ランディングページの利便性を向上させること。</li> </ul>
出展者登録ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出展方法（通常出展、共同出展、ハイブリッド出展・オンライン出展等）について選択可能とすること。また、通常出展等については、小間の大きさや小間（小）を選択した場合のオプションを選択可能とすること。</li> <li>② 出展者が出展者情報・製品情報等を入力・修正でき、PDF や画像・動画のアップロードができるようにすること。</li> <li>③ 出展要件に該当していることを審査するための資料（中小企業要件等の確認書類等）の提出フォームを併せて設けること。</li> <li>④ 出展者情報の登録に当たっては、一時保存や住所等の自動入力、出展者の属性に応じた入力不要項目のグレーアウトなどができるようにし、登録の負担を削減すること。</li> <li>⑤ 出展者が出展者マイページ上で入力した情報が個社ページに反映されること。</li> <li>⑥ 個社ページへのアクセス数、アップロードしたコンテンツのダウンロード数、動画の再生回数、滞在時間等を出展者が確認できる機能を設けること。</li> <li>⑦ チャット機能は、各出展者が任意のタイミングで利用可否を選択可能とすること。</li> <li>⑧ 言語表記は日本語及び英語とし、切り替え可能とすること。</li> <li>⑨ 出展申込者のメールアドレスが有効であることが担保される仕組みであること。</li> <li>⑩ 実行委員会が出展者の申込情報をリアルタイムで把握できるように管理者用サイトを設けること。また、管理者用ウェブサイトから、出展者の申込情報をエクセルで閲覧可能なデータ形式でダウンロードできるようにすること。</li> </ul>
来場者登録ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 来場者情報の登録に当たっては、一時保存や住所等の自動入力、来場者の属性に応じた入力不要項目のグレーアウトなどができるようにし、登録の負担を削減すること。</li> </ul>
リアル展示会開催広報ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① リアル展示会のイベント情報、フロアマップ等を随時掲載すること。</li> </ul>
検索ページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 出展企業一覧を表示できるとともに、キーワード、カテゴリ等で検索して絞り込むことが可能なものとする。また、来場者情報を基に、関心が高いと思われる出展者をレコメンドする機能を設けること。</li> <li>② 検索ページ内で出展者分野や特別展示企画ごとに出展者が一覧でソートできる機能を設けること。</li> <li>③ 実行委員会が指定する企業・団体が誘致した出展者（以下「共同出展者」という。）が出展する場合は、実行委員会が指定する企業・団体の次階層に、共同出展企業一覧ページを作成すること。</li> </ul>

	<p>④ 出展企業一覧ページにおいて出展者を都道府県別にソートし、一覧で表示ができること。東京都については区市町村までをソート可能とすること。なお、ソート後の一覧には共同出展者も含むこと。</p> <p>⑤ 来場者が、出展商品等の資料を任意にダウンロードできること。</p>
<p>個社ページ</p>	<p>① 出展者名、出展者情報および出展商品の紹介文とその写真、PR動画再生機能、名刺交換機能、チャット機能、出展者への問合せフォーム、アンケート機能等が同一ページ内に表示される個社ページを全出展者分作成すること。</p> <p>② 出展者と来場者が相互に同意した場合、事前登録情報等を交換できる機能を用意すること。</p> <p>③ 商談機能の利用状況が個社ごとに確認できる機能を有すること。</p> <p>④ 商談機能は、出展者が商談可能か、英語対応可能か、リアル展示会に出展するかどうかなどを選択した上で、来場者がその状態をリアルタイムで確認し、商談を申し込める機能を設けること。</p>